

# 学校応援プロジェクト

## 「Tsurumaki English Day Camp!」活動報告

日時；2019年8月5日,6日 9:30~14:30

会場；多摩市立鶴牧中学校多目的教室

多摩市立和田中学校のグローバル・ゲートウェイに続き、8月5日(月)、6日(火)に多摩市立鶴牧中学校で「Tsurumaki English Day Camp!」を実施しました。2日間にわたり英語をふんだんに使い、ゲームや文化・趣味についてのコミュニケーション活動、グループ毎にシナリオを作り英語劇の発表会、学生・ALTの方たちと会話をするFREE TALKなどを行いました。中学校と本学との協働で、学生が詳細な企画をたて2日間ALTの協力を得て実施しました。



1日目の開会セレモニーでは、中学生のみなさんは少々緊張気味でした。大切なキーワードとして「Are you OK?」「Yes, I'm OK.」を紹介し練習しましたが、すぐには馴染めずなかなか大きな声でできませんでした。アイスブレイクとして3人で1枚のカードを完成させる絵合わせゲームをする中で、少しずつ笑顔も見られるようになり、グループ毎の活動になると、学生やALTと英語を使つての会話も積極的にできるようになりました。

最初のグループ活動は、文化について紹介したり、自分の趣味や好きなことについて紹介したりする企画です。まず、日本語で何を伝えようかを考えます。構想が固まったら、ALTの方や学生と協力して英語に直します。完成したスピーチを一人ずつグループ内で発表しました。

午後のセッションⅡのプログラムはALT4名からそれぞれの国の紹介などをさせていただきました。30分間英語のみの時間でしたが、手ぶりや身振りもあり、参加した中学生のみなさんにも、ずいぶん伝わったようです。



2日目には「Tsurumaki English Day Camp!」にも慣れ、学生やALTとの会話が弾む中学生の姿が多くみられました。午前にはグループ別対抗のジェスチャーゲームや全員で「Siman says」ゲームなどを行い、その後グループ毎に英語劇の準備に入りました。劇を作成する手順は「シナリオを考える → 役割を決める → シナリオを英語に直す → セリフを覚え(?)練習する」です。1時間ほどの限られた時間でしたが、各グループ難航しながらもアイデアを凝らし、それぞれに工夫しユニークなシナリオを作りました。

最初のグループは、街中で道を尋ねられた二人が、道順を教えてあげたあと、レストランで待っていた友人と食事をするという内容です。レストランのウェイターさんは、メニュー表にセリフが書いてあったようです。次のグループは、昔話桃太郎です。ナレーションをはじめ、おじいさん、おばあさん、桃太郎、キジ（劇中はbird）、猿、犬、そして鬼と、それぞれが、自分の役回りを見事に演じました。桃太郎が誕生したとのセリフは「I'm peach boy!」です。最後のグループは生徒のアイディアをすべて使おうと短編4部作です。コンビニでの買い物、ペットショップでの買い物、家で勉強するときの様子、そして少し怖い話。小道具は一切使わず、自動ドアも椅子も人が演ずるという斬新な手法でした。もちろんどのグループもすべて英語での会話です。ホワイトボードにセリフが書いてあり、それをのぞきながら行ったり、学生がそばから小声で伝えたりと、様々な工夫がありました。当初は難しいのではないかと考えていた英語劇も見事に完成しました。



劇の発表に続き、ALTの質問に回答するグループ対抗のゲームを行い、大いに盛り上がりました。最後のプログラムは、参加した全員の生徒が4名のALTの方と4名の学生、鶴牧中学校の英語の先生合わせて9名と、3分ずつ会話をしました。おおよそ30分間英語づくりの時間となり、英語での会話にも自信がついてきたと思います。大変内容の濃い2日間となりました。

閉会式での生徒さんの言葉に、だれもが笑顔になりました。「お母さんに行けと言われて参加した。嫌だったけど来てよかった。」

中央大学学校応援プロジェクトは今後も活動の幅を広げ、地域や学校の教育活動を支援していきます。

